(事業名)総合防災情報システムの整備経費 (担当部局)政策統括官(防災担当)

公開プロセスでの評価結果

(評価結果) 大幅な改善を要する

<取りまとめコメント>

- ・実際の運用を想定したシステム設計すべき。
- ・民間・他省庁の資源との連携を考慮すべき。
- ・自治体と共有できるシステムを整備すべき。
- ・効果の検証をすべき。

<評価者(外部有識者)の評価>

イ 特に改善は要しない1名口 部分的な改善を要する0名八 大幅な改善を要する5名二 廃止すべき0名

評価者のコメント

- ・システム設計にあたっての思想が十分に感じられない、ハードのみを目的と した事業とすることなく、実際の運用を想定したシステム設計とすることが 肝要
- ・関連主体との連携
- ・専門家のレビューを取り入れる必要
- ・既存の民間・他省庁の資源との連携を考慮して再設計する必要があるのでは ないか
- ・一刻を争う防災情報収集と適確な発信ができる体制は何なのか、被災地にとって最も必要な情報が素早く、自治体と共有できるシステムくらいは早急に整備すべき
- ・収集システムと発信共有システムの確立
- ・スピード感を、誰のためのシステムなのか、国民のためのシステムになって いるのか
- ・津波対応なしには驚いた、震災後、見直し or 追加システムのような発想はあ

るのか

- ・この事業については、概ね致し方ないように思う
- ・情報システムの整備により政府の災害対応がどのように効果的に行われたか について、検証をする必要がある
- ・災害対応のソフト部分を他の情報システムとの連携を含めて事業を構成すべき
- ・「使い方」という初歩的な問題になる
- ・関係省庁と情報共有するとのことだが、それは関係省庁だけで情報を独占することになるのではないか